

## インドネシア バンドン工科大学サマープログラム 募集要項

### 募集概要：

本プログラムには、バンドン工科大学での講義受講、アジア・オセアニア地域からの学生との交流、現地の文化学習、バンドン近郊でのホームステイ体験、研究機関・インフラ施設訪問、テーマを決めての英語によるプレゼン等が予定されています。学士課程の学生については、グローバル理工人育成コースの一環として実施され、本プログラムへの参加には、コースの単位が付与されます。

本プログラムの参加者を下記の通り募集致します。

【派遣先】 インドネシア バンドン

【渡航期間】 2016年8月6日(土)～8月22日(月) (17日間)

【費用】 約13～15万円 (予定：航空券代、燃料サーチャージ、空港税等を含む)

\*本プログラムの授業料は発生しません。

\*バンドン工科大学より期間中の宿舍と食事が提供される予定です。

\*フライトは大学が手配するチケットの利用となり、各自で旅行代理店に支払っていただきます。

\*所定の要件を満たす学生には奨学金として各人に7万円が支給される場合があります。学部生は前年度の成績評価係数の値が原則2.30以上の必要があります。なお国費と各国政府派遣の留学生は奨学金支給対象外です。

\*大学の指定する海外旅行保険に加入してください。

### 【応募資格】

1. 東工大正規課程学生。国籍・性別・学年・所属は不問 (学士課程、修士課程、博士課程の学生)。  
\*ただし応募者多数の場合は、工系3学院(工学院、物質理工学院、環境・社会理工学院)および工学系に所属の学生を優先する。
2. 現地で英語授業を聴講する程度の語学力を有していることが望ましい。
3. 学士課程の学生は、グローバル理工人育成コースに所属し以下の通りコース修了に向けた活動を行っている学生を優先する。
  - ① グローバル理工人育成コースの4つの教育プログラムの科目履修単位取得数が修了要件に近い。
  - ② ポートフォリオに必要事項(「学生情報シート」および「科目省察シート」)を記入している。\*グローバル理工人育成コースの所属・修了等の詳細については、以下のURLをご覧ください。

<http://www.ghrd.titech.ac.jp/w/>

【選考方法】書類審査及び面接

【応募締切】 2016年5月20日(金) 午後5時

\*応募に際しては、申請書類には、類主任(平成28年度学士課程の新入生)、学科長相当の教員(平成27年度以前の学士課程の入学)、コース主任(平成28年度修士課程・博士課程の新入生)、専攻長相当の教員(平成27年度以前の修士課程・博士課程の入学)の推薦と押印を必ず得てください。

\*プログラムの内容については昨年の参加者によって作成された報告書をご覧ください。

【申請書提出先】工系国際連携室(本館2階50号室)へ直接持参、または学内便(POST:H-106)で提出してください。

バンドン工科大学へ直接応募することはできません。

【面接予定日】 2016年5月24日(火)

【公募結果通知予定日】 5月30日(月)

【事前・事後学習】

※スケジュールは変更になる可能性があります。

本プログラム参加者は、単位付与の一環として、下記の事前・事後学習への参加が義務付けられます。

2016年6月15日(水) オリエンテーション1: 渡航前オリエンテーション、書類手続きその他

2016年6月22日(水) オリエンテーション2・書類提出、事前学習1:参加者マニュアル説明等

2016年6月29日(水) 事前学習2(予定):調査事項の発表

2016年7月20日(水) 事前学習3(予定): 昨年度の参加者および訪問国出身者によるブリーフィング等  
2016年10月: 個別報告会  
2017年4月: 合同報告会@留学フェア(代表者のみ)

### 【奨学金支援】

本プログラムは、独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)の奨学金(学士課程の日本国籍または日本の永住権を有する学生のみ)、東京工業大学130年基金(留学生)対象です。以下の基準を満たした学生には7万円が支給される場合があります(別途書類の提出が必要です)。必要書類については、選考後の【オリエンテーション1】にて説明されます。前学期の成績が奨学金支給対象の基準となります。

#### 奨学金支給基準:

1. 日本国籍を有する者または日本への永住権のある者(独立行政法人日本学生支援機構(JASSO))  
国費以外の留学生(東京工業大学130年基金)
2. 前年度の成績評価係数が2.30以上(JASSO規定の計算式に基づく)の場合には奨学金が支給されることがあります。➡学業成績書で確認する。

下記の表により「成績評価ポイント」に換算し、計算式に当てはめて算出(小数点第3位を四捨五入)

成績評価	100～80点	79～70点	69～60点	59点以下
成績評価ポイント	3	2	1	0

(計算式)

(「評価ポイント3の単位数」×3)+(「評価ポイント2の単位数」×2)+(「評価ポイント1の単位数」×1)+(「評価ポイント0の単位数」×0) / 総登録単位数

3. 前年度の成績評価係数が2.0以上～2.3未満(JASSO規定の計算式に基づく)の場合、自己推薦書を提出することで、支給が認められる場合があります。
4. 経済的理由により、自費のみでの派遣プログラムへの参加が困難な者  
(原則として家計基準に合致する者) ➡申立書を根拠とする。
5. 派遣プログラム参加にあたり、他団体から奨学金を受ける場合、他団体等からの奨学金の支給月額が本制度による支給金額を超えない者

(注)

1. 学士課程の1年生および2年生の参加については、「グローバル理工人研修入門1B」の単位が付与されます。(この場合、実践型海外派遣プログラムの単位とはなりません。)
2. 学士課程の3年生および下記の条件を満たす4年生の参加については、「グローバル理工人研修1B」の単位が付与されます。
  - 1) 当該海外派遣プログラムによる得られる単位の有無が、卒業に影響を及ぼさない。
  - 2) 卒業あるいは大学院進学に関する必要な手続きに影響を及ぼさない。
3. 上記にかかわらず、「グローバル理工人研修」等の科目ではなく、所属学科の科目による単位付与が行われる場合があります。
4. 修士課程および博士課程の学生は、教養科目群・広域教養科目の「国際研究研修」を履修登録することにより、単位取得が可能です。

### 【プログラムの問い合わせ先】

工系国際連携室 e-mail: [aotule@jim.titech.ac.jp](mailto:aotule@jim.titech.ac.jp)

電話: 03-5734-3859 (担当: 栗山)

本館2階50号室(本館正面玄関を入り、右手の階段を2階に上った突き当りの事務室)